

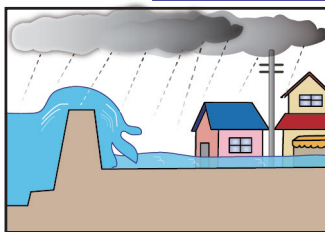
洪水発生仕組み

洪水災害とは、大雨や融雪などが原因で、河川の流量が異常に増加することによって陸地に水が溢れる自然災害で、「外水氾濫」と「内水氾濫」とに区別されています。

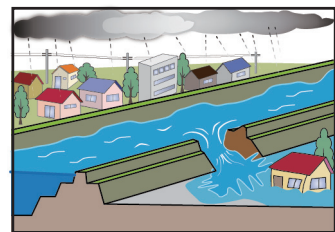
河川の増水による氾濫

外水氾濫

増水した河川の水が堤防を超えて陸地に溢れる。



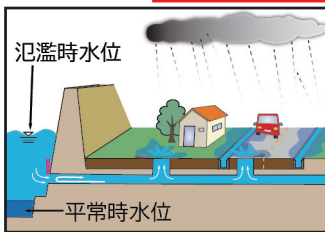
流量が激しかったり、堤防の老朽化等により堤防が洗掘、浸透し決壊して陸地に水が溢れる。



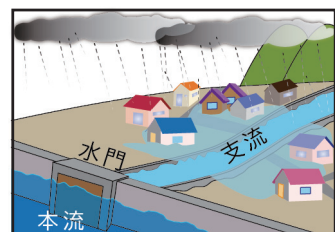
排水が追いつかずに氾濫

内水氾濫

短時間の強雨等により雨水の排水能力が追いつかず水が側溝や下水道から溢れる。

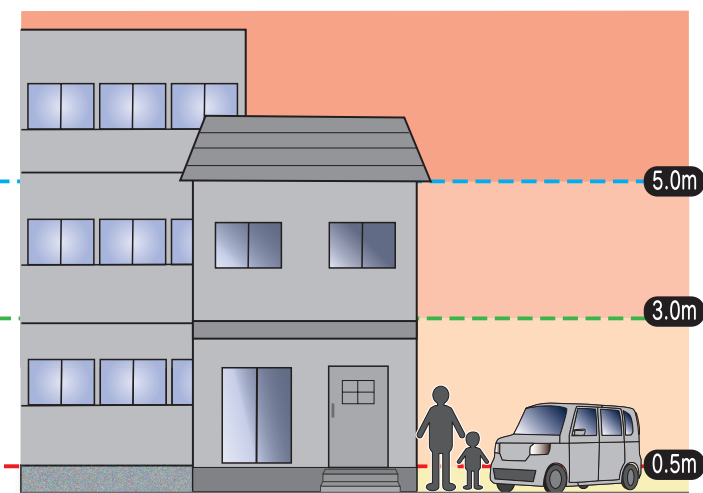


河川の水位が高くなり、支流への逆流防止のため水門を閉じることで支流や用水路の周辺の雨水が排水できずに溢れる。



洪水想定浸水深の目安

マップ上では、想定される浸水の深さを4色に分けて表示しています。

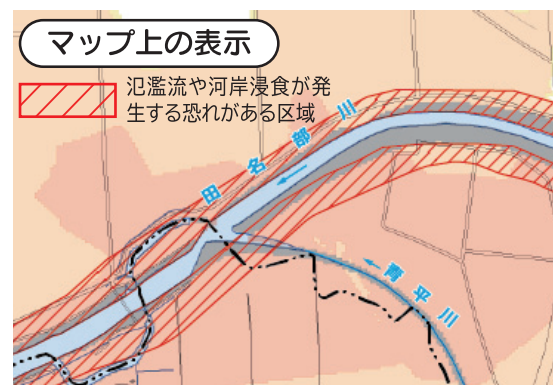


- 2階建ての建物（あるいは2階部分まで）が水没します。早期の立退き避難が必要です。**
※避難が遅れたら近隣の堅牢な3階建て以上の建物に一時避難することも手段のひとつです。
- 床上浸水（2階建ての床）が想定されます。**
屋外避難をおこなってください。避難が遅れたら安全確保を行い救助を待ちましょう。
- 床下浸水が想定されます。**
屋内で安全確保を行い、必要に応じて屋外へ避難しましょう。水深が0.5m（大人の膝程度）を超えると大人でも避難が困難になります。

家屋倒壊等氾濫想定区域とは？

「家屋倒壊等氾濫想定区域」とは、木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫流や河岸浸食の発生する恐れがあることから**早期の立ち退き避難が必要**な区域のことです。

このハザードマップでは、「氾濫流や河岸浸食の発生する恐れがある区域」と表示しています。



水位情報と避難行動の関係性

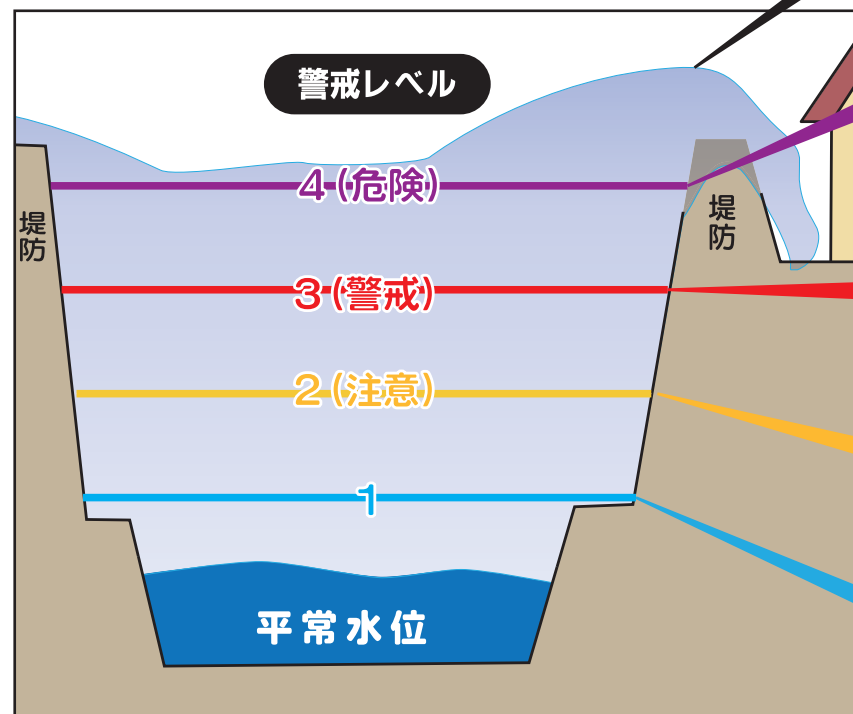
村では、水位周知河川として「田名部川」が指定され、鹿橋に基準水位が定められています。

基準水位	観測局名	田名部川	
	警戒基準	鹿橋	田名部
氾濫危険水位		3.10m	2.50m
避難判断水位		2.70m	2.40m
氾濫注意水位		2.40m	2.35m
水防団待機水位		2.10m	2.10m

鹿橋における水位情報は、近隣河川の水位も同程度の上昇があるとみこまれます。参考にしましょう。

水位名称と避難行動

指定河川
洪水予報
(気象庁発表)



- 氾濫の発生** 氾濫発生情報
「災害がすでに発生している」状況となっています。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保してください。
- 氾濫危険水位** 氾濫危険情報
「避難指示」を発令する場合あり。いつ氾濫してもおかしくない状態です。避難指示が発令されていなくても自ら避難の判断をしてください。
- 避難判断水位** 氾濫警戒情報
「高齢者等避難」開始を発令する場合あり。村が、住民へ避難準備情報や氾濫の注意喚起を発表する水位です。
- 氾濫注意水位** 氾濫注意情報
水害の被害拡大を防ぐための防災活動を行う水防団が、出勤する目安の水位です。
- 水防団待機水位**
水防団が氾濫に備えて待機する水位です。

青森県河川砂防情報提供システム

<http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp/>

青森県 水位 🔍 検索



青森県と国土交通省が観測した青森県域の雨量・水位情報、河川の状況等をリアルタイムで提供します。

洪水に備えて浸水対策

家屋周辺の見まわり

雨水桝や側溝の上、できれば中のゴミや落ち葉を清掃しましょう。また、鉢植えや自転車などを建物内にいれておきましょう。



簡易的な浸水防御対策

土（水）のうを作成する。家庭内で簡易的に土のうにできそうな物を探してみましょう。

- 3つの参考例
- ① 2重にしたゴミ袋に水をいれ、段ボール箱に数個つめる。
 - ② 止水板を購入し、玄関や通気口をふさぐ。
 - ③ 水を入れた複数のポリタンクを並べる。

思わぬ箇所からの浸水対策

外の排水が処理しきれないため浸水した水が、下水管等を逆流してくる。または、家庭内の排水が出来ずに溜まってしまいう場合もあります。

災害時には、排水口（トイレ、風呂、洗濯機）を使用時以外、塞いでおきましょう。

